

表中層トロール漁法による 公海域サンマ操業の実用化に向けた取り組み

漁業生産工学部

研究の背景・目的

- ・太平洋中緯度公海域にはサンマ、カタクチイワシ等の膨大な未利用資源が存在
- ・これらの資源の有効利用を目的に、省人省力化漁船(工船)を検討中
- ・この漁船の実用化には、効率の高い漁法の確立が必要

研究成果

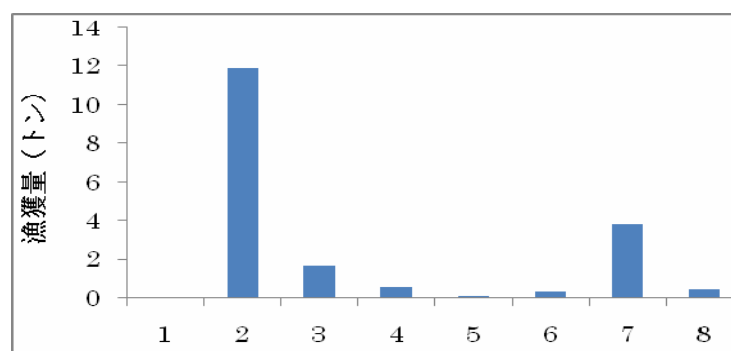
- ・1時間の曳網で最大12トンのサンマを漁獲
- ・漁場確定後は、漁獲技術の向上により十分な漁獲も可能

波及効果

- ・他の浮魚類への表中層トロール技術の適用
- ・漁場探索方法の確立が課題



12トン漁獲時の網(北海道区水産研究所 北光丸)



1時間曳網したときの網次別漁獲量 (漁場確定後)

(漁法研究室・山崎慎太郎)